

変更 令和7年8月28日にプレスリリースで情報提供した件について、
天候不良による定期船の欠航が見込まれるため、
規模を縮小し、関係者のみの開催となりますので、お知らせします。

庄内総合支庁長記者懇談情報提供項目
令和7年8月28日（木）
総務企画部総務課連携支援室

飛島との新たな接点をつくり関係人口を拡大！

「島キャンプ2025」合宿プログラムの実施

酒田市飛島において、関係人口の創出を図ることを目的に「島キャンプ2025※¹」の合宿プログラムを実施しますので、当日の取材に御協力くださるようお願いいたします。

〔※1「島キャンプ」とは、飛島での暮らし体験や交流による関係づくりに興味がある団体を募り、合宿プログラムを自ら計画・実践した後、各団体の取組みの成果発表や参加者同士の意見交換を通して今後の飛島との関わり方を考えることで、飛島との新たな接点をつくるプロジェクトです。〕

【事業概要】

- 1 期 間 令和7年9月5日（金）～10日（水）5泊6日
- 2 主 催 山形県・酒田市（企画・運営は合同会社とびしま※²に委託）
〔※2「合同会社とびしま」とは、飛島の雇用創出やコミュニティの維持・存続のため、U・Iターン者により設立された団体。〕
- 3 参加者 応募のあった大学生で構成される3団体 計30名
- 4 内 容

各団体は、各々が掲げたテーマに沿って合宿プログラムを計画し、合宿当日は飛島の自然や人々との触れ合いを通して、飛島の魅力発信や地域課題の理解に資する表現やアイデアの構想を描き、合宿後の取組み（作品制作等）に繋げていく。

	人数	所属	テーマ
団体①	11名	東北芸術工科大学(9名) 多摩美術大学(2名)	飛島の自然や文化を、彫刻や絵本等で表現することによる発信
団体②	10名	東北芸術工科大学(8名) 東北大学(1名) 秋田県立大学(1名)	飛島の環境問題を、海岸漂着物等を用いた作品で表現することによる発信
団体③	9名	東北芸術工科大学(9名)	飛島の空き家を活用した、人々が集い交流する場づくり（アトリエ等）

＜合宿終了後の展開＞

令和7年12月には、各団体が成果発表等を通して今後の飛島との関わり方を考える成果報告会を、東北芸術工科大学で開催する予定ですので、詳細については、改めてお知らせします。（同大学内で成果作品の展示も予定）

5 取材日時

各団体において島内での活動状況が異なります。取材いただける場合は、下記担当にご連絡ください。

天候不良による定期船の欠航が見込まれるため、大正大学の学生を中心とした関係者のみの開催

【関連事業】

昨年度の「島キャンプ2024」で大正大学の学生が中心となり企画・実施した「飛島盆踊り」について、今年度は「令和7年度山形県若者がつなぐ・つながる地域おこし推進事業費補助金」を活用し、酒田東高等学校の生徒もメンバーに加え、9月14日（日）に飛島で開催されますので、併せて取材に御協力くださるようお願いいたします。



担当：連携支援室
連携支援専門員 佐藤則子
電話：0235-66-5438